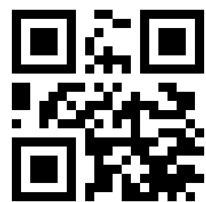




GAP 認証農場

Good Agricultural Practice



説明資料

共通GAPマークについて

NPO法人GAP総合研究所

2024年8月20日

前提

- ▶ GAP認証農場、GAP取組産地、GAP食材使用という文言は、共通GAPマークを使わずとも、商品上で表記することは可能です。（注：ASIAGAPやGLOBALGAPという文言は、それぞれのルールにて不可となっています）
- ▶ ただし、事実と異なる表記をした場合は「不正競争防止法」「不当景品類及び不当表示防止法」「食品表示法」その他関係法令によって、行政によって罰せられる可能性があります。
- ▶ 多くのGAP認証農場や、その農産物の加工業者が、共通GAPマークの形で表示することで、同じ絵柄やフォントで消費者の目にふれることになり、全体としてのGAPの存在感を高める効果があります。
- ▶ 共通GAPマークは、GAP普及の公益団体であるNPO法人GAP総合研究所（以下、GAP総研）の登録商標となっており、不正な表示に対して、行政が上記の法律で迅速に対応できない場合でも、商標法によりGAP総研の判断で表示をやめさせることができます。

共通GAPマーク制度 開始の背景

- ▶ GAPは業界の認知度は上がってきましたが、一般消費者の認知度は低いままです（農水省調査 R元年度 11.6%）。
- ▶ GAPは、消費者向け表示がしにくいです。
 - ▶ JGAPは農産物には表示可能。
 - ▶ ASIAGAPとGLOBALGAPは、表示不可
 - ▶ 加工食品の中で、原料にJGAPとASIAGAPとGLOBALGAPが混じるケースは、JGAPのマークは使えない
 - ▶ 都道府県GAPのマークは多様で、消費者も同じ分類のものとして認識できていない
- ▶ 今は、広くGAPを知ってもらう段階であり、日常の買い物の中でGAPの文字が多くの消費者にふれることで、認知度が上がります。
- ▶ 国際規格のGAPかどうかなど、GAPの違いを消費者が選ぶ段階にはなく、まずはGAP全般を知って頂く必要があります。




共通GAPマークとは

- ▶ 共通GAPマークは、食品安全、環境保全、労働安全、人権の尊重、家畜衛生、アニマルウェルフェアに配慮した農場管理を行う農場・団体に生産された農産物・畜産物であることを示すマークです。
- ▶ 共通GAPマークは、GAP総研の登録商標であり、GAP総研とサブライセンス契約を交わすことで使用することができます。
- ▶ GAP全般の認知度が社会で高まることは、GAP認証を持つ農家・団体にとって有効であり、また消費者もGAPについて知る機会を得ることができ、商品選択や購買する店舗選択の助けとなります。
- ▶ 共通GAPマークにはQRコードが併記されており、リンク先のWEBサイトにGAPの消費者向け説明、共通GAPマークが優良誤認を起こさないための説明、不正使用を防止するための共通GAPマーク使用者一覧が用意されます。
- ▶ 2022年11月に制度を開始しました。

共通GAPマークを表示できるGAP認証制度

- ▶ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会が、日本国内に広くGAPが普及するきっかけとなったことは、東京2020大会のレガシーであり、それを継続的に発展させていくことが重要です。そのため、東京2020大会の持続可能性に配慮した調達コード（第3版）及び持続可能性に配慮した農産物の調達基準で認められたGAP（以後、略称「東京2020大会 調達基準GAP」）を今後も尊重していきたいと考えます。
- ▶ よって、共通GAPマークを表示できるGAP認証制度は、「東京2020大会 調達基準GAP」に限定し、その認証を持つ農家・団体が活用できる共通のマークとして使用します。
- ▶ 農産物・畜産物および加工品、飲食店のメニューブック等に使用できます。
- ▶ 詳細な使用方法については、「共通GAP マーク 使用のルール（GAP総研HPに掲載）」に定めます。

3種類の共通GAPマーク

<p>共通GAPマーク A</p>	 <p>GAP認証農場 Good Agricultural Practice</p>	<p>東京2020大会 持続可能性に配慮した農産物の調達基準 3 項及び 東京2020組織委員会が認める認証スキーム のGAP認証制度の認証を持つ農家・団体が使用できます。</p> <p>ただし、GLOBALGAP認証農場については、共通GAPマークAの使用条件は満たすものの、2022年12月6日に GLOBALGAP本部より対象から除外してもらいたいとの正式な依頼があり、理由としてはGLOBALGAPはbusiness-to-business useに限定したい等ということでしたので、共通GAPマークAの対象から除外しました。</p> <p>主にJGAP/ASIAGAP認証農場が使うことができます。</p>
<p>共通GAPマーク B</p>	 <p>GAP取組産地 Good Agricultural Practice</p>	<p>東京2020大会 持続可能性に配慮した農産物の調達基準4項のGAP認証制度の認証・確認を持つ農家・団体が使用できます（経過措置として2024年3月末まで）。</p> <p>及び 「国際水準GAPガイドラインに準拠したGAP」の認証・確認を持つ農家・団体が使用できます。</p> <p>主に、東京2020大会の食材調達基準として認められた都道府県GAP認証・確認農場が使うことができます。</p>
<p>共通GAPマーク C</p>	 <p>GAP食材使用 Good Agricultural Practice</p>	<p>「東京2020大会調達基準GAP 認証／確認農場・団体」が生産した認証食材・確認食材を使用した加工食品や、飲食店のメニューブックなどで使用できます。</p> <p>共通GAPマークA/Bのマークが貼られた商品を原料・食材として使うという意味ではなく、農場・団体に認証書を提出させるなどして、その条件に合致する農場・団体であることを確認すればよいです。</p>

共通GAPマークCについて

- ▶ 「東京2020 調達基準GAP」の認証・確認を持つ農場・団体から「東京2020 調達基準GAP」の認証農産物・確認農産物を調達し、加工食品に加工・販売する場合または飲食店で提供する場合には、以下の条件を全て満たす場合に、共通GAPマークCを使用することができます。
 - ▶ 「東京2020 調達基準GAP」の認証農産物は、消費者庁「食品表示基準 Q&A 加工-207」の「特色のある原材料」として扱い、加工食品での共通GAPマークCの表示について判断します。
 - ▶ 共通GAPマークCは、全原料のうち、または品目を指定した食材のうち、「東京2020 調達基準GAP」の認証農産物を100%使用することを加工業者・飲食業者が想定している場合に使用できますが、100%ではない場合にも、以下の文言の例なども活用し、優良誤認にならない範囲で使用することを、商標権を有するGAP総研は求めます。
 - ▶ 加工業者は商品に表記されている表示内容（共通GAPマーク内の文言を含む）に法律上の責任を持ち、共通GAPマークCを使用する商品に以下のいずれかの文言を付記することで優良誤認を防ぎます。主旨が変わらなければ、文言・数字については修正しても良いです。
 - ▶ 「本商品に使用している原料は主にGAP認証農産物を使用しています」
 - ▶ 「本商品に使用しているトマト（野菜／米／茶葉）は主にGAP認証農産物を使用しています」
 - ▶ 「本商品に使用しているトマトはGAP認証農産物を使用しています」
 - ▶ 「本商品は、GAP認証農産物を50%以上使用して作られています」
 - ▶ 「本商品は、GAP認証農産物を100%使用して作られています」
- ▶ 天候不順などにより、加工食品で使用している食材の産地が緊急で変更になることはあり得ます。その場合は、共通GAPマークC使用者は消費者庁「食品表示基準 Q&A」に配慮して個別の判断を行います。

共通GAPマークC 申請

使用許諾申請書
「本紙」

「本紙」が受理された段階で、共通GAPマークCのデジタルデータは貸与されます。

「本紙」の提出後、商品・料理ごとに出して頂きます

使用許諾申請書
「別紙」

使用許諾申請書
「別紙」

商品・料理ごとに
原料・食材として使用する予定の
調達先のGAP認証／確認農場・団体の情報を提出

- ▶ 共通GAPマークCの申請では、共通GAPマークを使い始めるための申請書「本紙」とは別に、左記の「別紙」で商品ごとに以下の情報を提出して頂きます。
 - ▶ 商品・料理の原料・食材として使用する予定の調達先のGAP認証／確認農場・団体
- ▶ 申請後、原料・食材として使用する予定の調達先のGAP認証／確認農場・団体に変更が生じた場合は、速やかに「別紙」を最新の状態に直し、再提出してください。

共通GAPマーク 不正使用の防止

- ▶ 共通GAPマーク使用者は、「共通GAPマーク 使用のルール」を遵守したうえで、「商標法」「不正競争防止法」「不当景品類及び不当表示防止法」「食品表示法」その他関係法令を遵守しなければなりません。
- ▶ 共通GAPマークを農産物または加工食品またはメニューブック等で使用する場合、共通GAPマーク使用者（農場または加工業者または販売者または飲食業者など）がその表示について全ての責任を負います。事実と異なる表示をした場合は、共通GAPマーク使用者が上記の法律によって罰せられます。
- ▶ GAP総研のホームページで共通GAPマーク使用者名、使用者番号及び以下のどちらかの情報が公開されます。社会全体で情報共有することにより、共通GAPマーク使用者及びそれ以外の者による不正使用の両方を監視します。
 - (1) 東京2020大会 調達基準GAPの認証または都道府県等公的機関による第三者の認証・確認
 - (2) 業種 及び 共通GAPマークCの使用を想定している商品・サービス等（概略レベル）
- ▶ 共通GAPマーク使用者は 共通GAPマークが他人に悪用、盗用されないよう最善の注意を払わねばなりません。共通GAPマークの不正使用が発覚した場合、GAP総研はその者に対して差し止め請求・損害賠償請求等の民事上及び刑事告訴等の刑事上の法的措置を取ることがあります。その際に、共通GAPマークの使用者は協力し、または共通GAPマークのデジタルデータの管理について責任が問われることもあります。



GAP 認証農場

Good Agricultural Practice

UN : 00000000



User Number 使用者番号

共通GAPマーク使用者名とともに、GAP総合研究所のページで公開されます。

共通GAPマークの流出・不正使用などの発見に役立ちます。

GAP総研のホームページにつながり、消費者向けのGAP説明文書などが表示されます。

ホームページには共通GAPマーク使用者のリストも掲載されており、不正使用などの発見にも役立ちます。

共通GAPマーク使用者の公開

共通GAPマーク 使用者一覧

GAP総研 HP

共通GAPマークは、GAPを消費者に広く知ってもらうことが目的です。その適正な使用について、ご協力を頂きたいと思っております。

共通GAPマークはGAP総合研究所の登録商標です。使用者以外の不正な利用またはその疑いを見つけた場合、または何らかの不審な使用方法などを見つけた場合は、写真などとともに以下の共通GAPマーク担当まで積極的にお知らせください。商標権の侵害として厳しく取り締まりまるとともに、「不正競争防止法」「不当景品類及び不当表示防止法」「食品表示法」その他関係法令の違反として行政に通報するケースもあります。

共通GAPマーク担当 gapmark@gapri.jp

共通GAPマーク 使用者（登録商標 サプライセンス付与者） 一覧

共通GAPマークA

使用者（申請者）	使用者番号	東京2020大会 調達基準GAPの認証または都道府県等公的機関による第三者の認証・確認
〇〇農場	00000001	〇〇GAP

共通GAPマークA

使用者（申請者）	使用者番号	東京2020大会 調達基準GAPの認証または都道府県等公的機関による第三者の認証・確認
〇〇農場	00000001	〇〇GAP



共通GAPマークB

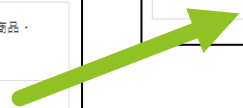
使用者（申請者）	使用者番号	東京2020大会 調達基準GAPの認証または都道府県等公的機関による第三者の認証・確認
JA〇〇	00000002	〇県GAP

共通GAPマークC

使用者（申請者）	使用者番号	業種・共通GAPマークCの使用を想定している商品・サービス等
〇〇フード	00000003	サラダ等加工食品

共通GAPマークC

使用者（申請者）	使用者番号	業種・共通GAPマークCの使用を想定している商品・サービス等
〇〇フード	00000003	サラダ等加工食品



共通GAPマークの活用例 1

GAP取組産地
Good Agricultural Practice



共通GAPマークを表示する際は、その商品上または周辺（店頭POP等）に、申請者の名前が共通GAPマークと同時に見える範囲に表記されることが条件となります。

共通GAPマークCには例外規定があり、

- ・パッケージの裏表に表示されること可
- ・メニューブック等の場合は、同じページではなくとも、その1冊の中で同時に表記があれば可

共通GAPマークの活用例 1

▶ 例1：トマトのASIAGAP認証農場

- ▶ Q：段ボールとパッケージにマークを使いたいのですが、どうすればよいですか。
- ▶ A：共通GAPマークA「GAP認証農場」を申請して、お使いください。これは消費者向けに表示して構いません。このマークの有無とは関係なく、ASIAGAPという文字の消費者向け表示は禁止されていますので、お気を付けください。

▶ 例2：キュウリのGLOBALGAP認証農場

- ▶ Q：店頭でPOPや袋など、消費者に見える形で、マークを使いたいのですが、可能ですか。
- ▶ A：できません。本来は「東京2020大会 調達基準GAP」認証農場には使用が認められているのですが、GLOBALGAP認証農場については、制度開始後の2022年12月6日にGLOBALGAP本部より対象から除外してもらいたいとの正式な依頼が来たため、使用できないことになりました。

▶ 例3：レタスのJGAP認証農場

- ▶ Q：既にJGAP認証農場マークを商品につけていますが、共通GAPマークに切り替えた方がいいですか。
- ▶ A：消費者にGAP認証を伝えるという意味では、そのままJGAP認証農場マークを使い続けるということでも良いのではないのでしょうか。もちろん、共通GAPマークA「GAP認証農場」のデザインが好きだとか、ご希望があれば両方つけたり、切り替えたりするのは農場側の希望次第です。

▶ 例4：大根の都道府県GAPの認証JA

- ▶ Q：都道府県GAPの認証JAなのですが、共通GAPマークは使えますか？
- ▶ A：共通GAPマークB「GAP取組産地」を申請して、お使いください。申請時には、都道府県GAPの認証書が必要になります。認証を持つJAに対して共通GAPマークの使用許諾が出ますので、JAの方で共通GAPマークBを使う商品についてはしっかり管理してください。当該JAに所属する個別の農家が、JAが管理していない形で勝手に使うことはできません。

共通GAPマークの活用例 2

▶ 例5：もやしのASIAGAP認証農場と、その出荷先のレストラン

- ▶ Q：出荷先のレストランで、うちの原料を使ったメニューがあるのですが、メニューブック上でGAPをアピールしたく、マークは使えますか。
- ▶ A：共通GAPマークC「GAP食材使用」をレストランに申請してもらって、お使いください。もやしを作っている農場自身は、特に申請は不要ですが、レストランに出荷する段ボールで表示したいようであれば、農場は別に共通GAPマークAを申請してお使いください。
- ▶ Q：農場とレストランの間に1社、商社が入っているのですが、商社も何か申請が必要ですか。
- ▶ A：特に必要ありません。共通GAPマークは商品上の表示の問題ですから、中間の商社も何か表示をしたいニーズがない限り、申請は不要です。

▶ 例6：GAP認証農産物でサラダを作っている加工食品メーカー

- ▶ Q：ASIAGAPのトマト、GLOBALGAPのキュウリ、JGAPのレタス、都道府県GAPのバジルを使ってサラダカップをコンビニ向けに出荷しているベンダーなのですが、マークは使えますか？
- ▶ A：共通GAPマークC「GAP食材使用」を加工業者（ベンダー）の方で申請し、お使いください。加工業者名を表示しないPBの場合は、販売者の方で申請し、販売者名とともにお使いいただいても構いません。
- ▶ Q：ASIAGAPのトマトと、GAP認証とは関係ないチーズを使ったカプレーゼサラダの場合は、どのような形でマークは使えますか？
- ▶ A：共通GAPマークC「GAP食材使用」と、そのマークと同時に「本商品に使用しているトマトはGAP認証農産物を使用しています」などの文言（「共通GAPマーク使用のルール」参照 他の文例もあり）を使用し、消費者庁「食品表示基準Q&A加工-207」の「特色のある原材料」の点から優良誤認が無い形でお使いください。

共通GAPマークの活用例 3

▶ 例7：都道府県GAPの認証書を持っている農場

- ▶ Q：東京オリンピックのころに、都道府県GAPの認証を取りました。認証の有効期限が切れてしまっていますが、マークは使えますか？
- ▶ A：共通GAPマークB「GAP取組産地」を使うことにはなりますが、認証の有効期限が切れている場合はマークを使えません。都道府県GAPの認証の有効期限が残っていることが申請時の条件になります。
- ▶ Q：都道府県の方で、認証をしてくれなくなっているのですが、その場合はどうしたらいいのでしょうか。
- ▶ A：都道府県GAPの認証を継続したい場合は都道府県に依頼して頂くしかありませんが、代わりにJGAPなどの認証に切り替えていくことで共通GAPマークA「GAP認証農場」が使用できますので、いかがでしょうか。

▶ 例8：レストランのメニューブック、店内のメニュー表示に共通GAPマークCを使いたい

- ▶ Q：メニュー数が多く、また季節によって頻繁に変更があるので、共通GAPマークCの別紙を出すのが大変です。
- ▶ A：飲食店の場合は一定の料理のジャンル内において頻繁にメニューが変更（四季での変更、週での変更、日替わりメニュー、給食事業者による献立変更など）されることも考えられるため、使用許諾申請書「別紙」の提出を省略できます。
- ▶ Q：メニューごとに共通GAPマークCを表示するのは煩雑であり、デザイン上も良くないのですが、飲食店に限り、別の表示方法は無いですか？
- ▶ A：メニューブック等の場合は、同じページではなくとも、その1冊の中で同時に表記がある、または飲食店自身がその表示に責任をもっていることを店全体として消費者に理解できる表示形式（通常の飲食店であれば、その店内のメニューと食材については当該飲食店が責任を持っていることは自明である等）であれば可とします。

共通GAPマークの申請から使用まで流れ

- ▶ **ステップ1：共通GAPマーク 使用許諾申請書をGAP総研に提出**
 - ▶ GAP総研のホームページにある申請書をダウンロードし、必要事項を記入し、提出ください。
 - ▶ 共通GAPマークA「GAP認証農場」と共通GAPマークB「GAP取組産地」の申請者は、認証書の添付が必要になります。
 - ▶ 共通GAPマークC「GAP食材使用」の申請者は、申請「本紙」とは別に「別紙」によって、商品・料理ごとに、原料・食材として使用する予定の調達先のGAP認証／確認農場・団体を、商品の発売5日前までに、GAP総研に申請・提出する必要があります。
- ▶ **ステップ2：GAP総合研究所による申請書の審査**
 - ▶ 申請書の内容、提出された認証書などを確認します。申請から受理まで3 - 5営業日かかります。受理されると、GAP総研のホームページにある共通GAPマーク使用者一覧に申請者の名称が公開されます。
- ▶ **ステップ3：共通GAPマークの貸与**
 - ▶ 申請書が受理された場合、共通GAPマークがデジタルデータセット（JPEG・GIF・EPS）の形で提供されます。共通GAPマーク使用者番号がマークに含まれます。ルールを守って、ご自身の包材などに組み込むなど、消費者向けにご使用ください。
 - ▶ 上記の申請書には、GAP総合研究所が所有する登録商標・共通GAPマークについての使用に関する法的な宣言も含まれます。ルールを逸脱した使用については、商標権の侵害としての法的な措置が取られます。
- ▶ **ステップ4：1年に一回の利用継続の更新申請**
 - ▶ 利用継続の申請書を提出頂きます。申請書には、利用状況の概略など記入していただきます。
 - ▶ 共通GAPマークA「GAP認証農場」と共通GAPマークB「GAP取組産地」の申請者は、認証の有効期限内の認証書を改めて提出して頂きます。
 - ▶ 共通GAPマークC「GAP食材使用」の場合、商品・料理の原料の農場・団体が追加・変更になる場合、随時の「別紙」による修正申請が必要になります。新しい商品の場合は、「別紙」による追加申請となります。

共通GAPマーク Q&A

- ▶ Q : JGAP認証農場から野菜を仕入れ、当社の工場にてカット野菜に加工して販売する予定です。よって当社の加工食品には共通GAPマークCを使う予定です。その場合、共通GAPマークCは共通GAPマークA・Bを取得した農場でなければならないという認識で間違いありませんでしょうか？
 - ▶ A : 「共通GAP マーク 使用のルール」に記載のある通り、「東京2020 調達基準GAP」の認証／確認を持つ農場・団体から「東京2020 調達基準GAP」の認証農産物／確認農産物を調達し、加工食品に加工・販売する場合に共通GAPマークCは使用できる、とあります。共通GAPマークAまたはマークBを貼付している商品を使うという意味ではありません。認証書などで確認し、条件になっている認証を持っている農場・JAの原料を使えばよいということになります。
- ▶ Q : 農場に共通GAPマークAと当社が共通GAPマークCの両方申請する場合、審査の方が3 - 5営業日ほどかかるとのことですが、AとCは同時に申請は出来ますでしょうか？また、使用料金につきましては2つ分という形になりますでしょうか？
 - ▶ A : 申請は、共通GAPマークAは認証農場などが行い、共通GAPマークCは加工業者などが行います。それぞれ別の申請となります。使用料金も申請者ごとにかかります。
- ▶ Q : 当社で商品に貼るシールを作成するのに1~2週間ほどかかってしまうため、可能であれば先にデザインのみ頂いて進めていきたいのですがこちらは可能でしょうか？
 - ▶ A : 個別判断になりますので、申請時に申し添えて頂ければ、早めに対応します。申請から共通GAPマークのデジタルデータ送付までの期間は、通常は3-5営業日を予定しております。

共通GAPマーク Q&A

▶ Q：共通GAPマークCについて、トレーサビリティは誰の責任ですか？

▶ A：「共通GAP マーク 使用のルール」5項にある通り、「東京2020 調達基準GAP」の認証農産物は、消費者庁「食品表示基準 Q&A 加工－207」の「特色のある原材料」として扱い、加工食品での共通GAPマークCの表示について判断します。例えば、「黒毛和牛使用のハンバーグ」と加工食品で記載するのと同じように、加工業者による原料管理と使用管理によって共通GAPマークC「GAP食材使用」の表示を行いますので、トレーサビリティは加工業者が担うこととなります。

▶ Q：共通GAPマークAとBについて、トレーサビリティは誰の責任ですか？

▶ A：認証農場自身が共通GAPマークを使用し、自らの商品が「GAP認証農場」「GAP取組産地」のものであることを自らの包材上で伝える形ですので、それが正しいことを保証するのは認証農場の責任となります。例えば農産物が「茨城県産」や「品種：ふじ」であることを、自らの包材上で消費者に伝えるのと基本は同じです。

▶ Q：共通GAPマークCを使いたいのですが、申請書にはどのようなことを書くのでしょうか。

▶ A：申請書には「本紙」「別紙」があります。「本紙」で使用者の情報に加え、「別紙」で商品・料理ごとに、どちらのGAP認証/確認農場・団体の農産物を使うのか、提出する必要があります。原料の農場・団体が追加・変更になる場合、速やかに「別紙」を最新の状態に直し、再提出してください。

共通GAPマーク Q&A

- ▶ Q：私はお茶農家です。団体認証の農場メンバーの一人がその荒茶を原料にして製品にします。荒茶から製品にする際、仕上げ工場で再火入れ、ゴミカスを取り除く工程をして、製品にします。仕上工場は認証取得していません。原料から製品になるまでに、認証なしの工程が入ります。このパターンでも共通マークCの申請が可能ですか？
 - ▶ A：共通GAPマークCの使用条件が「東京 2020 大会調達基準 GAP」認証／確認農場・団体が生産した原料・食材を使用した加工食品となっております。加工業者の立場に立ち、原料が「「東京 2020 大会調達基準 GAP」認証／確認農場・団体が生産した」であることを確認するために一般的には認証書を確認することになります。認証書に記載された原料（荒茶など）を使用しているのであれば、その認証書をもとに上記を満たすとみなせますので、共通GAPマークCの最終製品での使用が可能です。